

(エ) 座学職業

① ちゅらさき分教室における「座学職業」の捉え方

ちゅらさき分教室における「座学職業」は、生徒一人ひとりが社会的・職業的に自立し主体的に社会経済活動に参加しながら生きて行く力を養うため、基盤となる知識・技能・態度を身に付けることをめざしている。そのためには、「生活力」（一人（個人）で生きていく力）と「経済力」（勤労意欲・職業生活能力）を身に付けることが必要であり、「座学職業」では、職業生活の実現を目指した基本的な知識・技能・態度の習得をめざす。週8時間の「職業」のうち2時間を「座学職業」として、学級または2、3年合同で行う。

② 授業実践計画

＜生徒に身に付けさせたい力＞

- (1) さまざまな職業や職種を知りその職に就くために求められる能力や経験、資格等を知る。
- (2) 職場で必要とされる作業態度やマナーなどについて学ぶ。
- (3) 場の安全・衛生及び健康の維持について理解し実行する。
- (4) 休憩時間等の余暇の過ごし方などについて知る。
- (5) 通勤の方法や通勤時や勤務にふさわしい服装やマナーについて理解する。
- (6) 職場の組織とそれぞれの役割、労働時間及び勤務時間、賃金、福利厚生などについて知る。
- (7) 職場での各種保険制度などや、健康保険、雇用保険、年金などの制度と活用方法を理解する。
- (8) 職種による免許や資格等の取得、検定などについての知識。
- (9) 雇用に関する各種援助や障害福祉について知る。
- (10) 職場や就労に関わる相談、自己に適したサービスの利用方法についての理解と申請や手続き等、実際に利用できるようにする。

上記の「生徒に身に付けさせたい力」を参考に、表1「年間授業実践計画」を計画し必要に応じて各教科と連携し教科等横断的な視点で「単元」や「題材」を設定することとした。

主な単元名として、1学期は、「職業選択や働く姿」、2学期は、「就労に向けた取り組み～関係機関の利用方法～」3学期は、「社会人としてのマナーや実生活に向けた取り組み」内容を設定し、ビジネスマナーは、年間を通して行いながら生徒の資質や能力を育成する。

表1 「年間授業実践計画」

学期	月	2年生	3年生
1学期	4月	「職業オリエンテーション」 「キャリアパスポートの作成記入」	
	5月	「前期就業体験に向けて」～職業人として必要なビジネスマナーの習得～ ・ビジネスマナー（挨拶、身なり） ・実習評価の振り返り、目標設定 ・しおり作成 ・通勤練習（校外学習含む）	
	6月	「前期就業体験」 ・事後学習 ・報告会	

		「職場見学に向けた取り組み」 ・（保育系）絵本の読み聞かせ ・ 幼児との手遊び、接し方	
	7月	～働く現場の実際を知り進路選択の幅を広げる～	
		「企業見学・職場見学」（保育介護系・事務系） ・ 幼児との交流に向けて（保育についての学習） ・ 事務職の仕事について（探求学習）	※3年生のみの取り組み 「職業訓練校見学」 ・ 進路選択の幅を広げる 「求職登録の手続き」 ・ ハローワーク訪問、求職登録に向けて
		「先輩と語ろう会」 ・ 介護 ・ 食品スーパー	
夏季休業中		3年生～就職活動に向けて～ 「ハローワーク登録」「沖縄県障がい者就業・生活支援センター登録」	
2学期	9月	「雇用契約について」 「面接指導」 ・ 雇用契約時の面接・質問などについて 「ビジネスマナー学習」 ・ 敬語・挨拶・報告・連絡・相談について	
	10月	「後期就業体験」 ・ 実習の振り返り、目標設定・事後学習、報告会	
	11月	「家庭生活について」 ・ 生活に必要なお金について ・ 家計簿	「求人票の読み取り方」 「働き方の種類・給料の受取方」 「社会保険制度について」
		「先輩と語ろう会」 ・ リハビリ助手 ・ 事務	
	12月	「企業・職場見学」 (工場・自動車整備・専門学校)	「役所見学（市民課、障害福祉課）」 ・ 申請や手続きの方法について 「グループホーム見学」
3学期	1月	「求人票の読み取り方」 「履歴書の書き方」	「履歴書の作成」 「面接に向けて」
		「先輩と語ろう会」 ・ 保育助手	
	2月	「役所の活用方法」 ・ 各種保険制度 ・ 就労に関わる相談、自己に適したサービスの利用方法 「身なり講習会」 「証明写真撮影会」	「役所の活用方法」（出前講座） ・ 各種保険制度 ・ 就労に関わる相談、自己に適したサービスの利用方法 「身なり講習会」 「証明写真撮影会」 「テーブルマナー」

			「就労コーディネーター講話」
	3月	「金銭教育」 ○家計簿の記入方法 「キャリアパスポートの記入」	「ハローワーク面接」 「就職面接」 「就労アセスメント」 「キャリアパスポート記入」

※就業体験や校外学習の報告会は、2、3年生合同で行い全学年で情報共有できるようにする。

③ 授業を行う際のポイント

- (1) 将来の職業生活に直接関わる内容を具体的に取り扱う
- (2) 卒業後の進路に関する体験的な活動や実習など取り扱う
- (3) 自己に対する理解を深め、自らの生き方を考えて進路を主体的に選択することができるよう、将来の生き方等について考える内容を取り扱う
- (4) 知的障害のある生徒の学習上の特性等を踏まえて実践的・体験的な学習活動を取り扱う

④ 実践内容

取り組み内容Ⅰ（テーマ）

「事業主と雇用契約を結ぼう～就業体験事前挨拶・面談を活用して～」

美咲特別支援学校または、総合センター分教室では、これまでの就業体験先への事前挨拶・面談は進路係が担当し、実習内容の調整を行った上で、事業主担当と生徒との顔合わせや挨拶のみ行うものであった。また、生徒の担任や担当は、事前に生徒の実習期間と実習先、大まかな職種などの情報は得るが、実習中、生徒の様子を見に行く機会もなく、どのような会社でどのような仕事をしているのか、生徒がどのような様子で仕事をしているのかなど全く解らないまま実習が終了する状況があった。このような課題から担任や担当も積極的に生徒の進路選択・決定に関わることはできないか、総合教育センター分教室に通う生徒の実態としてアルバイトを希望する生徒が多数いること、（実際にアルバイトをしている生徒もいる。）就労に対する意欲が高いことから、担任、担当として就業体験事前挨拶・面談を活用して雇用契約を結ぶ方法について学ぶ機会を作れるのではないかと考え、後期就業体験から取組内容（テーマ）を設定して取り組むことにした。

<取組内容・環境設定>

生徒

- (1) 実習内容（就業時間・仕事内容・昼食の方法・服装など）に関する質問を生徒主体で行う。
- (2) 自己の障がいの特徴などについて生徒主体で事業主に伝える。
- (3) 通勤指導を行う機会とする。

職員

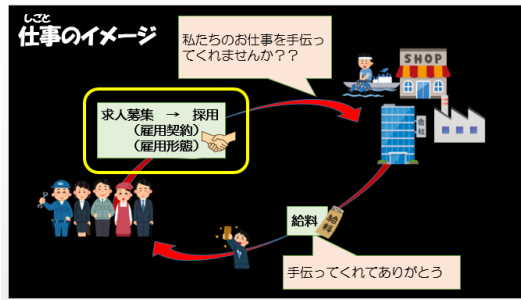
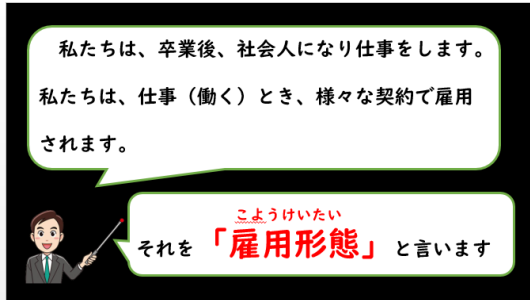
- (1) 生徒21名（3年生9名、2年生12名）を2～3名ずつ担任・担当に振り分け、事前面談挨拶から実習中の挨拶・巡回指導・反省会・事後学習・事後報告会までと取り組みについて担当する。
- (2) 紙面内容等について担任・担当で入力し作成する。

<授業内容>

(1) 事前学習

「雇用契約とは」

PP の内容（雇用形態や雇用契約を結ぶことについてのイメージ図）



PP の内容（雇用契約を結ぶことについてのイメージ図）



今回の授業で、就業体験事前挨拶・面談の時、自分自身で「雇用契約」（就業時間・仕事内容・昼食の方法・服装など）を結んでくることを伝え、事業主への質問内容や自己紹介について考える授業を行った。また、実習を行う会社・企業がどのような仕事を行い、社会貢献をしているかなどについて調べる機会を提供した。

「図 1 質問内容を記入するためのワークシート」

就業体験実習 会社・事業所情報 他		事業所名	
代 表 者	職 種	TEL	
所 在 地	連絡先	FAX	
実習内容	実習時間		
職 種	担当者（職種）	月 日（日）	
	初 日	時 間（ ）	
	実習会 日 時（ ）		
実習生	担当教師		
学 年	連絡先		
（部・科）	TEL/FAX		
交通費	（Eメール）		
その他	連絡・文書時の連絡方法（本人が担当でなければ、担当見込み、担当見込み見込み）		
	就業体験開始日時：月 日（ ）（ ）（ ）		
	就業体験終了日時：月 日（ ）（ ）（ ）		
	就業先		
緊急連絡先	美咲特別支援学校 センター分教室 TEL: 〇〇-〇〇-〇〇〇		
氏名	姓 名		

就業体験に向けての質問内容を記入しよう！

年 月 日 氏名

1. 会社名を記入しよう。
2. 会社の住所を記入しよう。
3. 実習で質問する内容

美咲特別支援学校で実際に活用している「就業体験実習 会社・事業所情報等」資料も活用し質問内容を考えた。

「図 2 実習を行う事業主（会社や企業）を調べるためのワークシート

会社・企業・事業所を調べてみよう
 年 月 日 氏名

※写真添付を行う会社・企業・事業所名を記載しよう

1. どのようなサービス・仕事内容を行っている会社・事業所ですか？

2. 会社の所属している職種・部署・職務等を記入しよう。

3. どのような業務・業務を行っている業務がメインですか。

4. 会社・事業所がある地域を指定する際の地図画像を貼ってください。

5. ※写真添付を行う会社・企業・事業所の紹介文を短文記入しよう。

6. 会社の事を調べてみての感想を記載しよう。

実習を行う事業主（会社や企業）がどのような会社でどのようなことを行って社会に貢献しているのか、自分が担当する仕事以外にどのような部署や仕事があるのかなどについて知らずに実習を行っている生徒がほとんどであったため事業主について調べる機会を提供した。

(2) マナー学習

①挨拶②表情③身だしなみ④言葉遣い⑤態度についての学習を行った。

「図 1 PP 資料 マナーとは」

マナーとは??

1. あいさつ
2. 表情
3. 身だしなみ
4. 言葉遣い (丁寧語をつかいこなす)
5. 態度 (お辞儀・物の扱ひなど)

1~5のことをまとめて **マナー**と言います

「図 2 PP 資料 挨拶」

1. あいさつ

正しいあいさつとは?

- ①相手の目を見る
- ②明るく笑顔でハッキリと
- ③心を入れて
- ④自分から先に
- ⑤あいさつされたら必ず返す

★あなたの表情は周りの人を幸せにしていますか？

「図 3 PP 資料 表情」

2. 表情

良い表情を心がけましょう

「笑顔」が大切です

「図 4 PP 資料 身だしなみ」

3. 身だしなみ

★身だしなみの基本は

- ①清潔
- ②上品
- ③整えである
- ④季節的である
- ⑤顔に表情がとれている

「図 5 PP 資料 言葉遣い」

4. 言葉遣い (丁寧語をつかいこなす)

なぜ正しい言葉遣いが必要なの?

- ①正しい言葉 (丁寧語) は、相手への思いやりを伝え、同時に相手の人としての尊厳を守る。
- ②いい言葉を使えばいい気持ちになる、悪い言葉を使えば嫌な気持ちになる。

「図 6 PP 資料 態度」

5. 態度 (お辞儀・物の扱ひなど)

気をつけたい態度

1. 腕組み...相手を警戒、拒絶するポーズです。後周りにも見えます。
2. 足組み...後周りにも見えます。相手を敵う気持ちに受けます。
3. 不機嫌な表情をしている
4. 返事をしない、返事が小さい
5. 挨拶をしない、挨拶が小さい
6. 背筋が伸びていない
7. だらだら歩く、だらだら行動する
8. 呼ばれてもすぐに来ない、反応しない

(3) 名刺交換

事前挨拶・面談時、ビジネスマナーの1つである名刺交換を行うための取り組みを行った。

OA 班との連携し名刺を作成した。

「写真 1・2 名刺を作成している様子」

「写真 3 首かけ名札(ネームプレート)として活用」



「写真2 名刺交換（授業）の様子」



(4) 後期就業体験事前面談の様子

「写真1 生徒同士での名刺交換会（授業）の様子」



「写真2 面接練習（授業）の様子」



②成果

(1) 生徒

生徒が主体的に面接時の質問を行うことができ、事業主側からも生徒の実態を把握することができるというメリットもあった。生徒自身も自信に繋がり実習終了後、積極的に求人票を検索する様子が見られた。

- ①働くことの意味・授業主への貢献などについてを知ることができた。
- ②雇用形態について学ぶことで、自ら求人票を読み取ることができるようになったり、求人票について興味・関心を持つ生徒が増えた。
- ③ビジネスマナーを学ぶ機会を作ることができた。

(2) 担任・担当

以前より生徒の将来の進路選択について生徒・保護者・進路・四者で一緒に考えられるようになったことと、担任・担当側からも実習先の提供等、進路課委託に繋がった。

- ①生徒の働いている様子や事業主の様子や雰囲気、生徒に合った場所なのかどうかなどについて知ることができ、事後指導に役立つことと、保護者・生徒と進路選択について、より具体的、的確な進路指導が行えるようになった。
- ②進路担当との連携がスムーズになり、生徒の課題や改善点、進路希望などについての情報共有が活発に行えるようになった。

③ 課題

- ①名刺に自己の長所や短所等を記入する。障がい認識や自己アピールに繋がるのではないかな
- ②3年生に関しては、採用に関わるので、担任・担当だけでなく進路担当も一緒に反省会を行うことが望ましい。
- ③将来の職業生活につながる学びが深められるよう年間指導計画を組み立てる際、教科横断的な計画を組み立てることが重要である。

(1) 今後の展望

次年度に向けて、本年度の計画を元に座学職業の年間指導計画を作成しながら、必要に応じて他教科と連携し教科横断的な授業展開ができるよう計画すると更に、学びのある教育ができるだろう。

(例えば)

国語・・・敬語・履歴書の作成、メモの取り方

家庭科・・・衣食住

数学・・・金銭教育

自立活動・・・障がい理解、自己理解

社会・・・社会の仕組みや各種保険制度（健康保険、雇用保険、年金などの制度など）

体育・・・8時間仕事を集中して行うための体力作り

道徳・・・弾力（失敗したときや壁にぶつかったときに跳ね返す力）

特活・・・世の中の出来事について考えて自己の考えを発表する。他者の意見を受け入れる。

手帳の活用（日記を毎日記入し自己を振り返り表現できる）

取り組み内容Ⅱ（テーマ）

「自立した職業生活を目指した取り組み～卒業後の自立を想定した関係機関の見学を通して～」

美咲特別支援学校センター分教室3年生は、生徒の多くが一般就労を目指し、将来的に自立や一人暮らしを希望していることがわかった。一方で、卒業後は保護者からのサポートを得られにくい家庭環境もあることから、卒業後の自立を想定して、就労に関すること、生活面に関することなど

必要な情報を学んでおく必要性を感じた。十分なサポートの情報や支援の手立てを知っておくことで、安心して就労を継続することができると考え、必要な情報収集の方法や相談機関、窓口、生活の場について学ぶことが、生徒の自立した職業生活を目指すことができると考え、本テーマを設定した。

〈取組内容・環境設定〉

- (1) グループホーム見学
- (2) 市役所利用の仕方（市民課、障害福祉課）
- (3) ハローワーク利用の仕方
- (4) 障害福祉課職員による出前講座

〈授業内容〉

単元1「グループホーム見学」

(1) 事前学習

「将来、どんな暮らしがしたい？グループホームってどんなところ？」

将来の生活の場をイメージし、希望を書き出す。一人暮らしをイメージした時、家賃や光熱費等生活にかかるお金のこと、家事や自炊など生活面のこと、賃貸契約など手続き、その他心配なことなどをイメージさせ、自立はしたいが一人暮らしはハードルが高いことを知る。住まいの場の一つとしてグループホームがあることを知り、グループホームの仕組みや暮らし方についてインターネットやパンフレット等で調べる。その上で、見学時の質問を考えてワークシートに記入する。

グループホーム見学に向けて ワークシート①

Q あなたは将来、どんな暮らしがしたい？

1. 自身の将来の生活についてイメージしてみよう (○をつけてみよう)
いつかは一人暮らしがしたい / 今のまま、家で親や家族とくらしたい / 卒業後すぐ家を出たい (自立したい) / 友達と住みたい / ほかに
2. 一人暮らしの方法
自分でアパートを借りる / 会社の寮に住む / グループホーム / 友達とルームシェア / ほかに
3. どんな部屋に住みたい？
1room (ルーム) / 1K (一部屋とキッチン) / 1LDK (一部屋とリビングダイニングとキッチン) / 2LDK (2部屋以上) などなど
4. 一人暮らしをするとイメージして、不安なこと、心配なことは？
家賃や生活費のこと、やりくり、食事のこと、掃除や家事のこと、防犯、安全のこと、部屋を借りる手続きのこと、一人は不安、さみしい...

図1 将来の生活のイメージについて

グループホーム見学 ワークシート②

Q グループホームってなに？

Q. 入居のための手続き

【実際に見学してみよう】 日時: 月 日 ()

会社名	
担当者のお名前	
見学する物件の名前	
住所	
料額	
家賃	
その他の費用	
お部屋の印象	
見学した感想	

図2 グループホーム見学ワークシート

(2) 見学 (校外学習)

「実際にグループホームを見て、知ろう」

タイプの違う2軒のグループホーム見学を実施した。生徒の居住地に近いうるま市、沖縄市のグループホームを見学し、実際の個人の居住スペースや共用スペース、1ルームタイプなど違いを知った。家電家具等の備え付けや食事を頼むことができるなど詳しい情報をグループホームの管理担当者から説明を受けながら、物件の動画や写真撮影を生徒自身が行い、事前に用意した質問やその場で聞きたいことなどを質疑応答の時間で理解を深めた。



図3 グループホーム担当者へ質問の様子



図4 グループホーム内部（生徒が撮影）

(3) 事後学習、報告会

「グループホームの良さを伝えよう」

見学後、説明や質疑応答で得た情報、撮影した動画、写真等を基にポスターと発表スライドを作成し、グループホームの特徴や良さなどをまとめ、2年生に向けた報告会を行った。

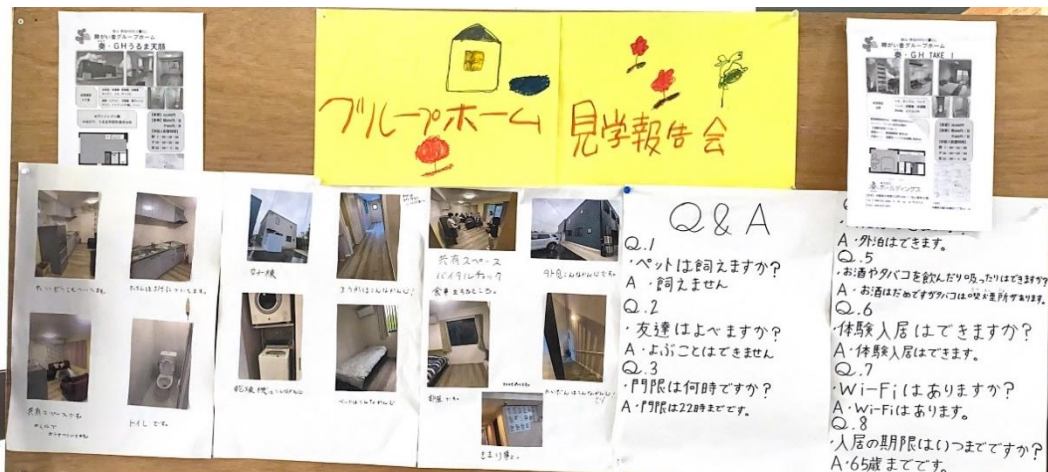


図5 グループホーム見学 ポスター発表

単元2「市役所利用の仕方」

(1) 事前学習

自分の居住する市町村の市役所の場所を知る。今回、見学する課（窓口）について、どのようなときに利用するのか調べる。調べた情報を基に、自分で利用する場合を想定して質問を考える。

(2) 市役所見学（校外学習）

今回は、沖縄市役所を見学した。市庁舎を訪問し、各課担当者より説明を受け、窓口を見学、質疑応答を行った。市民課では、住民票等の申請の仕方、引っ越しに際して転入・転出の手続きの説明、結婚に際して入籍届など戸籍関係について実際の申請用紙を見ながら説明を受けた。障害福祉

課では、運転免許取得の助成金申請やグループホーム利用の申請、療育手帳、障害年金に関することなどの説明や質疑応答があった。



図6 市役所見学（市民課窓口）



図7 市役所見学（質問の様子）

（3）事後学習、報告会

市民課と障害福祉課のグループに分かれて、学習内容をまとめポスター作成と2年生に向けた発表を行った。



図8 市役所見学ポスター発表

⑤ 成果

グループホーム見学では奏ホールディングスの実際の物件を見学し、シェアハウスタイプやアパートタイプがあること、利用にはルールが伴うことなどを学んだ。生活の場の選択肢としてのグループホームについて学び、実際の物件を見学し、担当者に質問することでリアリティをもって、自分の自立に向けた準備を考えることができた。

卒業後の利用を想定して、沖縄市役所市民課では住民票等の申請の仕方、転居・転出の際の手続き、障害福祉課では療育手帳の更新やグループホーム利用の申請、運転免許取得のための費用助成などについて情報を得ることができた。市役所見学、社会人になることを見据え、家庭環境も配慮し、自分でできるように、困った時に助けを求められるように、必要な情報や窓口を知ることがで

きた。事前学習を行い、見学先について下調べをしたり、個々やグループで質問事項を考え、見学後は、見て学んだことをグループごとにまとめたり、発表して伝え合うなど、回を重ねるごとに、学びを深めた主体的な取り組みができた。

また、年間を通して取り組んできたビジネスマナーの習得が校外学習のたび感じられた。特に、挨拶やお礼の言葉を述べる際、話を整理し、敬語で堂々と発表する姿などに見ることができ、学び、身についたことが職業生活、社会生活の充実に繋がっていくと実感できた。

⑥ 課題

①自立した職業生活を想定して、市役所見学やグループホーム見学を行う中、実際に市役所利用したことがない生徒もいたので良い機会となったが、今後も生徒の実態に応じて見学内容や指導目標の見直しも必要かと感じた。

②「グループホームのイメージが変わった」と良い印象をもつ一方、居住のルール等を知り、躊躇する生徒もいたが、実際に見て知った上で、自分で判断することができるのではないかと感じた。